



PRESS RELEASE

2022年11月11日

アッヴィ、PRIDE 指標 2022 でゴールドを受賞。昨年に続き 2 年連続

- 2022 年 1 月から始動した、従業員リソースグループ(ERG)が、公平、平等、ダイバーシティ&インクルージョン(EED&I)をけん引
- 2022 年 6 月、「Business for Marriage Equality(BME)」への賛同を表明
- 2022 年 11 月、LGBTQ+に関する取り組みが評価され 2 年連続でゴールドを受賞

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は、任意団体 work with Pride が 2022 年 11 月 10 日に発表した PRIDE 指標 2022 で、ゴールドを受賞したことをお知らせします。

アッヴィでは、多様な視点を尊重し、インクルーシブな文化を醸成し、尊厳と敬意を持って人々に接することに強くコミットしています。EED&I をさらに推進するために、2022 年 1 月に始動した ERG が Pride に関する取り組みをけん引しています。LGBTQ+を一つの個性として認め合い、ありのままの自分で活躍できること、またカミングアウトしてもしなくても、ここちよい環境の実現を目指して、以下の取り組みを行っています。

人事制度を平等にするために(制度)

- 同性婚・事実婚を、法律婚と同じ扱いにすることを明記した結婚に関するガイドラインの制定
- 「ドレス・フォー・ユア・デイ(その日の服装をあなたが決める)」ガイドラインでは、原則を定め、それに基づく服装の選択を促し男女別のガイダンスを撤廃
- ハラスメント防止ガイドラインを策定し、性的指向や性自認に関する不適切な言動がパワハラ・セクハラに該当することを明記

LGBTQ+について理解を深めるために(教育・研修)

- LGBTQ+に関する eラーニングの整備(基礎編・管理職編)
- 全社員が参加するタウンホールミーティングにて外部講師(トランスジェンダー)によるオンライン講演会および質疑応答の実施
- LGBTQ+ やアンコンシャスバイアスの理解を深める研修・講演会の実施

LGBTQ+に対する理解や受容の文化醸成のために(コミュニティ・コミュニケーション)

- LGBTQ+に関する定期的な情報共有(イントラ掲載、ニュースレターの配信など)
- LGBTQ+の理解促進のためのプレゼンテーションキットを作成し、全社員向けのオンラインセミナーを実施

一人で悩まないために

- LGBTQ+相談窓口(社外)の設置

社会と共に

- [「Business for Marriage Equality\(BME\)」への賛同を表明](#)
- 東京レインボープライド 2022 年への協賛およびパレードなどへの参加



社長のジェームス・フェリシアーノは次のように述べています。「2年連続でゴールドを受賞でき、私たちの継続的な取り組みが評価され大変うれしく思います。アッヴィでは、EED&Iをさらに推進するため今年からERGを立ち上げ活動体制を強化してきました。性別、国籍、年齢、性的指向、性自認、文化、働き方の違いや、障がいの有無などにかかわらず、自分らしく働くことができることで、能力や創造性を最大限に発揮しイノベーションを生み出すことが可能となります。その結果、患者さんの笑顔に貢献し続けられると確信しています」

PRIDE 指標について

PRIDE 指標は、日本初の、LGBTQに関する企業等の取り組みの評価指標です。PRIDE 指標 2022 は、「Policy(行動宣言)」、「Representation(当事者コミュニティ)」、「Inspiration(啓発活動)」、「Development(人事制度・プログラム)」、「Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)」の5指標について評価項目が設定されています。各指標内で指定の要件を満たしていれば1点が付与されます。すべての指標を満たせば5点満点ゴールドとなり、4点でシルバー、3点でブロンズとなります。出典: work with Pride PRIDE 指標とは
詳細はこちらからご覧いただけます。 <https://workwithpride.jp/pride-i/>

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,400人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。